

お知らせ

令和5年3月1日（水）
一般社団法人 日本蕎麦協会

「令和4年度第34回全国そば優良生産表彰表彰」

農林水産大臣賞ほか各賞受賞者の決定について

一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和4年度第34回全国そば優良生産表彰事業」による農林水産大臣賞ほか各賞を、下記のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は、下記の通り開催いたします。

記

1 受賞者

別紙のとおり

2 表彰式

令和5年3月28日（火）

15：00～ 如水会館（東京都千代田区）

(参考) 全国そば優良生産表彰事業の概要

目 的：国産そばの生産を奨励し、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家及び生産集団を表彰し、その成果を広く紹介・普及する（平成元年度から実施、今回で34回目）。

成 果：これまで、品質・生産性向上に努力した生産農家及び生産集団が受賞し、6次産業化、ブランド化の成功にもつながったほか、地域のそば振興のモデルとなっている。

農林水産大臣賞の受賞者の特色：作付面積・収量ともに好成績であり、技術・経営上にも様々な取り組みを実施し、環境保全型農業や海外への販路拡大なども目指しており、他の生産者の模範となる点が評価された。

主催：一般社団法人 日本蕎麦協会

後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、日本農業新聞

協賛：一般社団法人 日本麺類業団体連合会、全国蕎麦製粉協同組合、全国農業協同組合中央会、玄蕎麦流通協議会

お問い合わせ先

一般社団法人 日本蕎麦協会

電 話 03-3264-3801

メール info @ nihon-soba-kyokai. or. jp

URL http://www.nihon-soba-kyokai. or. jp

(別紙)

令和4年度第34回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和5年2月22日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	有限会社ファームトピア	北海道蘭越町
農林水産省農産局長賞	株式会社Eカルチャー 代表取締役 林 彩乃	群馬県沼田市
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	横張 清彦	茨城県阿見町
一般社団法人 日本麺類業団体連合会会長賞	篠崎 宏之	茨城県下妻市
	農事組合法人印田	福井県福井市
	片屋集落営農組合	福井県越前市
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	市菌 勉	鹿児島県南九州市
一般社団法人 日本蕎麦協会会長賞	農事組合法人たざわこ地そばファーム	秋田県仙北市
	株式会社八千種営農	兵庫県福崎町
一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞	農事組合法人やしおそば	秋田県由利本荘市

農林水産大臣賞

氏名・集団名	有限会社ファームトピア（代表取締役 <small>そでくにあき</small> 走出 邦章）
所在地	北海道磯谷郡蘭越町
立地・生育条件	蘭越町・黒松内町・ニセコ町・乙部町の4町で作付。標高は10～200m、中山間地域と盆地。ほ場によって土壌や気候が異なる。年平均気温7.2～7.8℃、年間降水量1,220～1,532mm。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	キタワセソバ（123kg/10a・1等）、キタミツキ（131kg/10a・1等）
そば作付面積	405.0ha（田100.0ha・畑305.0ha）
収穫量	498,322kg
労働時間	0.94時間/10a
生産費	34,383円/10a
機械化の現状	プラウ、ヘビーカルチ、パワハロー、ロータリー、グレンドリル、ブロードキャスター、汎用コンバイン、籾摺機、ライスグレーダー
作付体系	蕎麦～大豆～馬鈴薯～そば（輪作）、そば連作
経営上の割合等	玄そば販売平均6,500円/45kg＜対経営全体比：50%＞
出荷状況	(株)HAL GREEN、GFL合同会社、中央貿易(株)
技術上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策、湿害対策：畑はプラウ耕で作土層を確保、転作田はヘビーカルチ等の爪物の作業機で耕盤対策を行っている。 ・倒伏対策：北海道標準より播種量を減らし、密度を下げている。 ・地力維持：土壌分析を毎年行いPH等の調整をおこなっている。一部ほ場は特別栽培とし間作緑肥を行っている。 ・種子更新：キタワセは自家更新だが出荷用と同じ調整を行い、粒径・比重が一定になるように調整。キタミツキは農研機構から原種の方譲してもらい、隔離ほ場で原種維持を行っている。採取ほ場は別途設定し、ほ場でのコンタミが無いようにしている。 ・優良品種導入：作付品種はいずれも北海道優良品種である。 ・乾燥方法：乾燥前に粗選を行い乾燥機内でのブリッジ対策としている。通風乾燥を約24時間行い、その後汎用遠赤乾燥機で仕上乾燥を行い品質風味に配慮している。 ・調整方法：調整は全て自社で行い、改造した籾摺機、ライスグレーダー、石抜きの際に行っている。 ・その他：農薬は使用していない。
経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化、コスト低減：畑地と転作田で作業体系を分けそれぞれに合わせた機械化、省力化を行っている。また、栽培を道央、道南と広範囲で行う事で作業時期の分散を行い、機械の稼働率向上を行っている。機械の整備は重整備を除き農閑期に自社ですべて行っている。 ・作付け体系：耕作放棄地や草地を扱う事が多いので数年そばを作付けし、畑の特性に合わせて輪作するものと単作でいくものを分けている。 ・地域：同じ地域で栽培されているソバの収穫から販売までを受託し、地域のソバの優位販売につなげている。 ・6次化他：自社で販路開拓し、北海道から九州までそば店に抜き実、そば粉での販売を行っている。契約栽培も推進しており製粉部門も含めて80～90%が契約栽培となっている。また、冬季間の雇用を継続するために外作業のない厳寒期にそば粉の製粉施設を構え、冬季間の収入確保、通年雇用を実施している。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の作付計画：キタワセをメインで栽培していたがキタミツキの方譲を受けて原種の維持、採種の大規模栽培が可能なので、順次品種の入れ替えを計画している。地域特性によってはキタワセの方が向いている場合も考えられる。また、「みどりの食糧システム戦略」を踏まえ一部ほ場で特別栽培基準での栽培、農薬不使用（令和3年は全ほ場で不使用）、カバークロップの導入など、環境保全型農業を実践している。 ・今後の経営計画：肥料や軽油などの生産資材が高騰しているなか、国内だけでなく海外への輸出を視野に商社、実需者を巻き込み戦略を考えてゆく。

農林水産省農産局長賞

氏名・集団名	株式会社Eカルチャー 代表取締役 <small>はやしあやの</small> 林 彩乃
所在地	群馬県沼田市
立地・生育条件	沼田市は群馬県北部に位置し、排水は良好で、基盤整備率は水田100%・畑71.6%。ほ場は標高650～800mの冷涼な地域。年平均気温12.1℃、年間降水量1,132mm。
年産	令和4年産
品種・単収・品質	キタワセソバ（138kg/10a・1等）、会津のかおり（149kg/10a・1等）
そば作付面積	5.1ha 〈田1.6ha・畑3.5ha〉
収穫量	7,470kg
労働時間	1.67時間/10a
生産費	17,368円/10a
機械化の現状	トラクター、ブロードキャスター、ロータリー、播種機、草刈機
作付体系	田・畑：夏そば～秋そば～（翌年）かぼちゃ（2期作）、トウモロコシ～秋そば（2毛作）
経営上の割合等	玄そば販売平均10,000円/45kg、そば粉販売平均1,600円/kg＜対経営全体比15%＞
出荷状況	製粉業者、飲食店、農産物直売所、その他販売所
技術上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策：排水性の不良なほ場においては、春に未成熟トウモロコシの栽培を行っている。もともと、排水良好な軽石層を含む黒ボク土地帯であるが、未成熟トウモロコシの深い根張りによって排水性がより改善される。また、水田の転作では畦を必要に応じて取り除き、溝切などをして排水を有効にしている。 ・種子更新実施：種子は自家採種しているが、委託先で乾燥及び調整を行うため他種子の混入等が考えられること、また、品質の特性を維持するために3～4年が経過したら全量更新することとし、来年更新する予定である。 ・倒伏防止策：二期作部分については、秋そばの倒壊を防ぐため施肥をしない。 ・乾燥：契約している取引先が希望する水分量になるよう、乾燥委託事業者と十分に協議した上、実施している。
経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化：株式会社Eカルチャーでは、「休耕地に花を咲かせよう！」を理念に掲げ、後継者不足等で耕作放棄地となった畑に真っ白いそばの花を咲かせることで地域の景観を守り、人々の心を和ませることを目指して取り組んでいる。令和元年に秋そば、令和2年に夏そばの生産を始め、社員は4名、そのうち生産に携わるのは3名と少ない人数ではあるが、作業によっては近隣地域の農事組合法人へ委託することで、機械導入等の費用を削減するとともに地域内経済循環を図っている。 ・作付体系・コスト低減：春まき作物等の裏作として作付予定がない耕地について、地元農家と連携を図り、二毛作として期間借地体系によるそばの栽培をしている。春まき作物等の後処理をすることで当該農家の負担軽減になるとともに連作障害の予防にもなる。トウモロコシ栽培後の二毛作にあっては、残渣をすき込むことで有機物を補給するとともに、肥料成分の残効により無肥料での栽培が可能となり、資源循環型の低コスト生産を実現。さらには収量の多い優良なそばができる。肥料については、元肥に鶏糞を使うことで費用を抑え、播種に至っては播種機によって種子の量を調整し少量化によるコスト削減を図っている。 ・契約栽培：地元をはじめとしたそば店や製粉業者を顧客とし、83%が契約栽培として販売の安定化を図っている。また、農産物直売所や各販売所でも販売している。 ・ブランド化・6次産業化：そばの名称を「尾瀬そば」と称し、夏そばを「水芭蕉」、秋そばを「くさもみじ」と命名、香り高い上質なそばとしてブランド化を図り販売している。そばの販売価格は下降傾向であることから加工にも注力し、菓子製造業の許可を取得。6次産業化として、そば粉100%グルテンフリーのシフォンケーキを自社製造し、地元の農産物直売所をはじめ首都圏でも販売している。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地への視察や研修への参加を積極的に行い、社員の技術力向上、生産力・販売力強化を目指す。 ・休耕地活用対策として、近隣の休耕地等の状況把握や農家との更なる連携を図り、耕作面積の拡大を目指す。 ・自社そば粉を使った加工品開発として、現在はシフォンケーキのみだが、市場調査を実施し、お客様のニーズにあった商品として、乾燥そば（乾麺）、そばいなり、そばかりんとう等の新商品開発を進め、6次産業化及びブランド化に取り組む。また、市のブランド認証事業「ぬまたブランド農産物」やふるさと納税返礼品の登録を目指す。 ・ホームページやSNS（LINE等）、ECサイトを活用した情報発信・販路拡大を検討する。

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	よこ ぼり きよ ひこ 横 張 清 彦
所在地	茨城県稲敷郡阿見町
立地・生育条件	阿見町は茨城県南部、霞ヶ浦の南部に位置し、平均海拔21mの平坦地、谷津が台地部に複雑に入り組んだ地形。火山灰土壌で排水性が良い。年平均気温14.8℃、年間降水量1,229mm。
年産	令和4年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（117kg/10a・1等、種子=合）
そば作付面積	5.0ha 〈畑5.0ha〉
収穫量	5,850kg
労働時間	7.13時間/10a
生産費	25,532円/10a
機械化の現状	播種同時施肥機、トラクター、ロータリー、プラウ、ドリルシーダー、乗用管理機、刈払機、汎用コンバイン、乾燥機、グレーダー
作付体系	そば～ジャガイモまたは緑肥麦～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均11,100円/45kg <対経営全体比10%>
出荷状況	J A水郷つくば

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	しの ぎき ひろ ゆき 篠 崎 宏 之
所在地	茨城県下妻市
立地・生育条件	下妻市は茨城県南西部に位置し、ほ場は概ね平坦な地形が多く、そば栽培の70%は畑作。水田は基盤整備が進んでおり、水稻・小麦・大豆・そば等が作付されている。年平均気温24.0℃、平均降水量175mm（夏）・40mm（冬）。
年産	令和4年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（90kg/10a・1等）
そば作付面積	11.7ha 〈田4.5ha・畑7.2ha〉
収穫量	10,530kg
労働時間	2.14時間/10a
生産費	24,737円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、ロータリー、ハローシーダー、ハイクリブーム、スライドカッター、動噴、汎用コンバイン・軽トラ、穀物乾燥機、収摺機
作付体系	田：そば単作、畑：麦～そば（約3年周期）
経営上の割合等	玄そば販売平均10,000円/45kg（道の駅）、8,000円/45kg（その他）〈対経営全体比14%〉
出荷状況	道の駅内そば店、そば店（JA経由）

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	かたやしゅうらく 片屋集落営農組合（組合長 いのうえ としゆき 井上 俊幸） 構成農家戸数=75戸
所在地	福井県越前市
立地・生育条件	越前市は福井県嶺北地方の南部に位置し、ほ場は小区画が中心で重粘土の土壌。土壌の影響で排水対策が必須である。年平均気温15.4℃、近年は温暖化傾向である。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	今庄在来（76kg/10a・1等）
そば作付面積	5.4ha 〈田5.4ha〉
収穫量	40,646kg
労働時間	1.65時間/10a
生産費	54,030円/10a
機械化の現状	草刈機、トラクター、フレールモア、トレンチャー、スライドロール式播種機、フェロモントラップ
作付体系	そば単作・水稻～大麦～そば（2年3作、ブロックローテーション）
経営上の割合等	玄そば販売平均3,411円/45kg〈対経営全体比1%〉
出荷状況	JA越前たけふ

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	いんでん 農事組合法人印田（理事長 すずき はじめ 鈴木 肇） 構成農家戸数=17戸
所在地	福井県福井市
立地・生育条件	福井市は福井平野の中心に位置し、基盤整備率83%、ほ場は標高10mの平坦地。ほ場は30a程度に整備、暗渠排水を整備。年平均気温15.1℃、年間降水量2,439mm。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	大野在来（95kg/10a・1等）
そば作付面積	4.5ha 〈田4.5ha〉
収穫量	4,253kg
労働時間	5.50時間/10a
生産費	35,021円/10a
機械化の現状	トレンチャー、施肥播種機、ロータリー、モア、汎用コンバイン
作付体系	水稻（早生）～麦～そば～水稻（中晩生）
経営上の割合等	玄そば販売平均3,606円/45kg〈対経営全体比9%〉
出荷状況	JA福井県

全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	いち 市	その 菌	つとむ 勉
所在地	鹿児島県南九州市		
立地・生育条件	南九州市は県南部に位置。遊休農地を活用し、基幹作物である甘しょの病気予防のためにそばとの輪作を実施。年平均気温18.1℃、年間降水量2,336mm。		
年産	令和4年産		
品種・単収・品質	春のいぶき (33kg/10a・1・2等)		
そば作付面積	42.9ha (田2.9ha・畑40.0ha)		
収穫量	1,418kg		
労働時間	2.17時間/10a		
生産費	25,070円/10a		
機械化の現状	トラクター、溝堀機、ブロードキャスター、トラクターカルチ、ブロードキャスター、自走草刈機、そばコンバイン、乾燥機、唐箕		
作付体系	田・畑：甘しょ～(翌年)夏そば・秋そば～(翌年)甘しょ		
経営上の割合等	玄そば販売平均11,250円/45kg<対経営全体比12%>		
出荷状況	南九州そば組合		

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人たざわこ ^じ 地そばファーム（代表理事 ^{あらかだ しゅんいち} 荒木田 俊一） 構成農家戸数=106戸
所在地	秋田県仙北市
立地・生育条件	仙北市は秋田県東部中央に位置。標高230m以上に位置し、冬季の平均気温は氷点下以下になる。水田からの転作田は黒ボク土が主体で、排水性が悪いため団地化を進めている。年平均気温9.7℃、年間降水量2,180mm。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	鳥海富士1号（77kg/10a・1等、種子=合）、高嶺ルビー（30kg/10a・1等）
そば作付面積	107.0ha 〈田107.0ha〉
収穫量	81,920kg
労働時間	2.30時間/10a
生産費	27,199円/10a
機械化の現状	溝堀機、バックホー、動噴、トラクター、汎用コンバイン、トラック、乾燥機、脱皮機、唐箕、石拔機
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均4,050円/45kg、製粉販売900円/kg<対経営全体比：100%>
出荷状況	昭産商事(株)、(株)芳コーポレーション、自家販売

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	株式会社八千種 ^{やちくさえいのう} 営農（代表取締役社長 ^{しろたに のりゆき} 城谷 憲敬） 構成農家戸数=155戸
所在地	兵庫県神崎郡福崎町
立地・生育条件	土壌は粘土質では場整備は完了しているが、排水対策は必要。農地集積により水稻・小麦・そばを中心に集落営農組合が耕作実施。瀬戸内海気候で降水量は少なく温暖。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（77kg/10a・1等）
そば作付面積	6.4ha 〈田6.4ha〉
収穫量	4,972kg
労働時間	5.17時間/10a
生産費	25,482円/10a
機械化の現状	トラクター、スタブルカルチ、播種機、肩掛草刈機、走行モアー、汎用コンバイン
作付体系	水稻～小麦～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均2,900円/45kg<対経営全体比4%>
出荷状況	J A兵庫西

一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞

「一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞」は、2次審査において各賞の対象とならなかった候補者について、他の模範となる生産者として、今後の経営の発展を期待して贈呈することといたしました。奨励賞受賞者については、来年度以降、作付面積・収量・生産技術・経営・取り組みなどについて発展が見られた場合には再度表彰事業への応募が可能となります。

<令和4年度第34回 一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞>

農事組合法人やしおそば（代表理事 小野 義雄）

秋田県由利本荘市